

研究課題一覧

研究課題名	研究期間											分科会 担当部会						
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6		R7	R8	R9	R10	R11	
液状化等により被災した管路に関する情報収集及び傾向分析						■	■										H30～R1	第一部会
地下水位のリアルタイム観測手法に関する検討						■	■										H30～R1	第一部会
地震と洪水の複合災害リスクマップの作成・提供						■	■										H30～R1	第一部会
高潮と豪雨による複合型浸水発生時の減災対策のための浸水予測システム開発						■	■										H30～R1	第一部会
危機管理型波浪うちあげ高観測技術の開発に関する研究						■	■										H30～R1	第一部会
下水道管路を対象とした総合マネジメントに関する研究						■	■	■									H30～R2	第一部会
大規模地震に起因する土砂災害のプレナリシス手法の開発						■	■	■									H30～R2	第一部会
建築物の外装・防水層の長寿命化改修に資する既存RC部材の評価技術の開発						■	■	■									H30～R2	第二部会
ライフステージに即したバリアフリー効果の見える化手法の確立						■	■	■									H30～R2	第二部会
緑地等による都市環境改善効果の定量的評価手法に関する研究						■	■	■									H30～R2	第二部会
大規模地震時の港湾施設の即時被害推定手法に関する研究						■	■	■									H30～R2	第三部会
インフラ等の液状化被害推定手法の高精度化						■	■	■									H30～R2	第一部会
重要インフラの即時被害検知・強震モニタリングシステムの開発							■	■									R1～2	第一部会
避難・水防に即応可能な情報伝達のための決壊検知・氾濫実況予測に関する研究							■	■									R1～2	第一部会
洗掘の被害を受ける可能性が高い道路橋の抽出と改道マニュアルの開発							■	■									R1～2	第一部会
建築物の外装材及び屋根の耐風性能向上に資する調査研究							■	■									R1～2	第二部会
地震を受けた拠点建築物の健全性迅速判定技術の開発							■	■	■								R1～3	第二部会
地方都市における都市機能の広域連携に関する研究							■	■	■								R1～3	第二部会
沿岸域における環境保全技術の効果的活用のための評価手法の開発							■	■	■								R1～3	第三部会
コンテナ船の定時性向上に資するターミナル混雑度指標の開発							■	■	■								R1～3	第三部会
下水処理場の応急復旧対応を再現可能な下水処理実験施設整備および検討							■	■	■								R1～3	第一部会
下水道管路の防災・減災技術の開発に関する実態調査								■	■								R2～3	第一部会
免震性を考慮した降雨指標に応じた崩壊土砂量の予測に関する検討								■	■								R2～3	第一部会
斜面・対策施設下部が全面的に水没した場合の崩壊危険度の評価手法の検討								■	■								R2～3	第一部会
施設の維持管理及び行政事務データの管理効率化に係る調査研究								■	■								R2～3	第一部会
ICT施工推進に必要な技術基準類整備に係る調査研究								■	■								R2～3	第一部会
水害時の被災リスクを低減する既存戸建住宅の予防的改修方法に関する研究								■	■								R2～3	第二部会
現場の環境変化を考慮した土木施工の安全対策の高度化に関する研究								■	■	■							R2～4	第一部会
非住宅建築物の防火性能の高度化に資する新しい性能評価指標および評価プログラムの開発								■	■	■							R2～4	第二部会
空き家の管理不全化に対する予防的対策効果の定量化に関する研究								■	■	■							R2～4	第二部会
災害後における居住継続のための自立型エネルギーシステムの設計目標に関する研究								■	■	■							R2～4	第二部会
スマートシティ推進支援のための主要な都市問題解決に係る計画評価技術の開発								■	■	■							R2～4	第二部会
自動運転空港除雪車の導入に関する研究								■	■	■							R2～4	第三部会
中山間地における降雨観測精度の高度化のための画像雨量計の開発								■	■	■							R2～4	第一部会
3次元データに対応したWEB会議システムの開発								■	■	■							R2～4	第一部会
洪水・豪雨に対する道路構造物の強靱化に関する調査研究								■	■	■	■						R2～5	第一部会
高頻度流域精密測量による短期・中期土砂流出対策手法高度化のための研究									■	■	■						R3～4	第一部会
リモートセンシング技術を統合活用した効率的な災害調査手法に関する研究									■	■	■						R3～4	第一部会
人工衛星データの統合活用による植生による土砂災害防止評価に関する研究									■	■	■						R3～4	第一部会
がけ崩れ災害緊急対応のための意思決定支援システムの開発									■	■	■						R3～4	第一部会
ダムで計測された地震動データを活用した被災状況推定システムの開発									■	■	■						R3～4	第一部会
緊急仮設橋の性能規定と部材等規格化に向けた調査研究									■	■	■						R3～4	第一部会
重要インフラの地震被害推定情報の即時配信システムの開発									■	■	■						R3～5	第一部会
下水道を核とした資源循環システムの広域化・共同化に関する研究									■	■	■						R3～5	第一部会
氾濫シナリオ別ハザード情報図に基づく減災対策検討手法の研究									■	■	■						R3～5	第一部会
土砂・洪水氾濫発生時の土砂到達範囲・堆積深を高精度に予測するための計算モデルの開発									■	■	■						R3～5	第一部会
既存建築物における屋根ふき材の耐風診断・補強技術評価に関する研究									■	■	■						R3～5	第二部会
浴槽レス浴室のバリアフリー基準に関する研究									■	■	■						R3～5	第二部会
都市関連データのオープン化と利活用の推進に関する研究									■	■	■						R3～5	第二部会
国際海上コンテナ背後輸送の効率化策に関する研究									■	■	■						R3～5	第三部会
RC造マンションの既存住宅状況調査等の効率化に向けたデジタル新技術の適合性評価基準の開発										■	■	■					R4～6	第二部会
既存オフィスビル等の省エネ化に向けた現況診断に基づく改修設計に関する研究										■	■	■					R4～6	第二部会
脱炭素化の推進に向けた沿岸環境保全技術における炭素貯留効果を最大化する手法の開発										■	■	■					R4～6	第三部会
効率的な維持管理に向けた既存港湾施設のBIM/CIM構築手法に関する研究										■	■	■					R4～6	第三部会
木造住宅の長寿命化に資する外壁内の乾燥性能評価に関する研究											■	■	■				R5～7	第二部会
省CO2に資するコンクリート系新材料の建築物への適用のための評価指標に関する研究											■	■	■				R5～7	第二部会
既存マンションにおける省エネ性能向上のための改修効果の定量化に関する研究											■	■	■				R5～7	第二部会
人流ビッグデータを活用した建物用途規制の運用支援技術の開発											■	■	■				R5～7	第二部会
事前防災による安全な市街地形成のための避難困難性評価手法に関する研究											■	■	■				R5～7	第二部会
航空機荷重に対応したコンクリート構造物の標準化に関する研究											■	■	■				R5～7	第三部会
上下水道管路の効率的な改築・点検調査に関する研究												■	■	■			R6～8	第一部会
土石流・土砂流による2次元河床変動計算等による細やかなリスク情報に基づく情報提供手法に関する研究												■	■	■			R6～8	第一部会
空家の適切な管理と有効活用の促進に資する構造性能評価技術の開発												■	■	■			R6～8	第二部会
建築火災時の避難弱者の行動特性に基づく避難安全設計に関する研究												■	■	■			R6～8	第二部会
民間賃貸住宅ストックの活用を考慮した公営住宅供給目標量の設定手法に関する研究												■	■	■			R6～8	第二部会
新技術を活用した都市の緑の効果的な計測手法及び評価手法に関する研究												■	■	■			R6～8	第二部会
港湾施設の重要性を勘案したリスク概念の港湾技術基準への導入に関する研究												■	■	■			R6～8	第三部会

凡例

■: 研究期間      ■: 第一部会 評価対象課題(事前・終了時)      ■: 第二部会 評価対象課題(事前・終了時)      ■: 第三部会 評価対象課題(事前・終了時)

令和5年度 第〇回国土技術政策総合研究所 研究評価委員会分科会（第〇部会）  
 評価用紙

評価者	
評価日	

課題名

研究期間

担当研究部

<評価の視点と項目>

必要性、効率性、有効性について、以下の観点を踏まえ、国総研にて実施すべきか事前評価を行う。

【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等

【効率性】計画・実施体制の妥当性等

【有効性】目標設定の妥当性、新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献等

<評価の結果>

評価の視点	コメント
必要性	
効率性	
有効性	

<総合評価>

※上記を踏まえ、実施すべきか、一部修正して実施すべきか、再検討すべきかについて、何れかに○を記載願います。

①実施すべき / ②一部修正して実施すべき / ③再検討すべき

※研究を実施するに当たっての留意事項等、その他特筆すべき点がございましたらご記入願います。

令和5年度 第〇回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第〇部会）  
 評価用紙

評価者	
評価日	

課題名

研究期間

担当研究部

<評価の視点と項目>

必要性、効率性、有効性について、以下の観点を踏まえ、目標の達成度について終了時評価を行う。  
 【必要性】科学的・技術的意義、社会的・経済的意義、目的の妥当性等  
 【効率性】計画・実施体制の妥当性等  
 【有効性】目標の達成度、新しい知の創出への貢献、社会・経済への貢献、人材の育成等

<評価の結果>

評価の視点	コメント
必要性	
効率性	
有効性	

<目標の達成度>

※上記を踏まえ、目標の達成度について、何れかに○を記載願います。

- ①十分に目標を達成できた      /      ②概ね目標を達成できた  
 ③あまり目標を達成出来なかった      /      ④ほとんど目標を達成出来なかった

※その他特筆すべき点がございましたらご記入願います。  
 （目標以外の成果、研究成果の活用方針等）